

せめてあと一人

『県内23議会女性ゼロ―4割弱全国ワースト4―』

これは、平成27年6月28日付福島民友の見出しです。この記事を見て愕然としたのは、私だけででしょうか。皆様はこの記事に対してどのような感想をおもちになるでしょうか。私には、まだまだ男性中心の考え方が根深く残り、女性にとって勇気が必要な社会であるという証のように思えます。

幸いわが町の議会には、過日の議会議員選挙の結果、久々に女性議員が誕生しました。しかし、このこと自体は喜ばしいことに違いはないのですが、充分であるうはずが

ありません。

国が進める「女性の比率を3割に」という施策からすれば、わが町においても3〜4人は必要ということになりませんが、依然として男性中心の社会であり、地縁・血縁的なつながりが強い社会にあっては、望むべくもないのが現状かと思えます。

わが町でも、震災や原発事故からの復興・再生という課題や、また少子高齢化がますます進行する中で、何よりも女性の視点を反映させた様々な施策が求められている中であって、せめてあと一人の女性議員の誕生が望まれるところですが。

つまり、もう一人のジャンヌダルクが現れることを切望しながら、そして、久々に現れたジャンヌダルクにエールを送るとともに、男性議員である先輩諸氏方のさらなる奮起を望むところです。



高橋 昇

(山崎北町内会)

地域の福祉施設を視察



理事長の案内で施設内を見学(国見の里)

10月13日、総務文教常任委員会で特別養護老人ホーム、「国見の里」と「あつかし荘」を訪ねてきました。施設の概要などの説明を受け、福祉施設の現状を直接見て学んできました。

編集後記

9月定例会は、9月8日から9日間の日程で開催されました。くみみ議会だよりは、議会として唯一の広報誌です。議会と町民をつなぐ架け橋として広報常任委員会では、議会の内容を詳しく、よりわかりやすい紙面づくりに取り組んでいます。また、議会では、町民の皆様からご意見や感想など、お待ちしております。(阿部 泰藏)

広報常任委員会

- 委員長 渡辺 勝弘
- 副委員長 佐藤 定男
- 委員 浅野 富男
- 同 阿部 泰藏
- 同 松浦 常雄
- 同 村上 一



議会だより編集集中の委員